

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4,26	モニタリングや会議・ミーティングでの記録内容に乏しく、個々の利用者に対しての統一した関わりや対応の方法の周知徹底が十分ではない。	記録の重要性を再認識した上で、記録内容の充実・情報の共有化を図る。又、その内容を家族に伝達・開示し、ケアプランの立案や新たなニーズの発掘に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の意義についての研修を開催する。 ・月に1度発送する手紙の内容について、個々の利用者のクローズアップすべき内容についての記載やケアプランに対する達成状況がうかがい知れる様な内容のものとする。 	6ヶ月
2	3,8,33	更なる知識の向上を行うべく、認知症、権利擁護や看とりについての研修を行う必要がある。	個々の職員が知識の向上を図り、利用者・家族への適切な助言が行えるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム内職員の持ち回りや、自事業所内のケアマネによる研修の開催を行う。 ・外部研修に参加し、参加職員による報告会の開催を行う。 	12ヶ月
3	35	防災等、事業所内で完結出来ない事柄や、利用者の処遇の向上の為に、より密な地域との連携が必要にある。	地域との連携を強化し、地域貢献と同時に地域の資産を有効活用して利用者の処遇改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで以上の地域行事・地域ボランティアへの参加、施設行事への地域の方の参加をすすめる。 ・運営推進会議での情報開示・問題提起を行う。 ・社協のボランティアセンターに問い合わせを行い、施設外の協力を得る手段を持つ。 	12ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。